

光が丘第七小学校・田柄第三小学校 統合準備会(第 17 回) 要点記録

開催日時	平成 22 年 1 月 28 日(木)午後 7 時~午後 8 時 00 分	
会場	田柄第三小学校 会議室	
出席者	委員	重田三夫、高橋義幸、渡邊万里子、松延茂、福澤志保、福田幸子、小山佐江子、相原幸一、吉田君代、畑河内シメ子、清水きよゑ、小嶺牧子(敬称略)
	その他	教育長、学校教育部長、田柄三小生活指導主任
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	0 人	
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 統合準備会(第 16 回)の要点記録の確認 2 統合新校の校歌について(報告) 3 閉校式、開校式および開校記念式典について(報告) 4 学校跡施設(光が丘地域)活用基本計画について(報告) 5 その他 	

1 統合準備会(第 16 回)の要点記録の確認

事務局

事務局が作成した「統合準備会(第 16 回)の要点記録(案)」の内容を、委員の方々に確認してもらいたい。訂正すべき点があった場合は、2 月 4 日(木)までに事務局へ連絡してほしい。その後、発言者を無記名にして、新しい学校づくり担当課のホームページで公開する。

2 統合新校の校歌について(報告)

〔資料 1 に沿って、事務局から説明〕

事務局

他の統合新校の校歌制作依頼者が決定したので報告する。

(1)光が丘四季の香小学校

作詞 こわせ たまみ 氏、作曲 竹内 邦光 氏

(2)光が丘春の風小学校

作詞 飯田 浩文 氏、作曲 中川 英二郎 氏

(3)光が丘夏の雲小学校

作詞 石原 一輝 氏、作曲 千住 明 氏

光が丘秋の陽小学校の校歌制作の進ちょく状況を報告する。先日、副会長とともに作曲家の林先生の事務所へご挨拶に伺い、今後の進め方についてご相談をした。また、作詞家の谷川先生には、近々ご挨拶に参りたい旨の手紙を投函したところだ。新校開校後の4月以降に、両先生方のイメージが膨らむように新校の写真等の資料をお送りする予定だ。

- 質疑なし -

3 閉校式、開校式および開校記念式典について（報告）

〔資料2に沿って、事務局から説明〕

事務局

光七小および田柄三小の閉校式、新校の開校式および開校記念式典の実施日および主な内容を報告する。

(1)閉校式

実施日 平成22年3月24日（水）
主な内容 校長式辞、区あいさつ、校旗返還

(2)開校式

実施日 平成22年4月6日（火）
主な内容 校旗授与、校長式辞、区あいさつ

(3)開校記念式典

実施日 平成22年11月27日（土）
主な内容 周年行事に準じた内容

委員

閉校式で校旗を返還してしまうと、翌日の卒業式で使う校旗はどうするのか。

副会長

形式的に校旗を返還することになるが、実際は光二小の跡施設の一室で開設する統合記念室で保管することになる。したがって、卒業式には問題なく使用できる。

委員

入学式の日時はいつか。

副会長

4月6日（火）の11時からを予定している。

委員

保護者も開校式に出席できるか。

副会長

保護者の方々には、各校で実施する閉校の記念行事や開校記念式典に出席していただくように考えている。

4 学校跡施設（光が丘地域）活用基本計画について（報告）

事務局

平成 21 年 9 月に「学校跡施設（光が丘地域）活用基本計画（素案）」を公表後、区民の皆様から多数の意見をいただいた。いただいた意見などを踏まえ、案としてまとめ、先日、正式に計画を策定した。基本的な考え方に変更ないが、計画（素案）からの変更点を報告する。光三小跡施設について、整備する施設として、「アニメ産業など地場産業の強化に繋がる施設、専門学校などの教育関係施設、高齢者や子どものための施設などとして活用する民間事業者を優先的に誘致します。」の一文を追加した。また、光七小の跡施設で整備する機能の表現を「民間事業者へ貸与または公共的な利用」に修正した。実施スケジュールでは、光三小の貸与者の公募選定を 21 年度中から 22 年度当初まで、開設も 23 年度後半から 24 年度当初に日程を延期した。また、光七小の暫定活用方法の決定時期が 22 年度前半に変更された。

委員

跡施設活用の説明会を再度開催する予定はあるか。

事務局

計画そのものの説明会を開催する予定はないが、民間利用となる跡施設については、事業者決定した後説明会を開催すると聞いている。

5 その他

委員

学校で進めている開校の準備について報告する。現在、3 月に教育委員会に届出する教育課程の具体案を作成している。具体例として、新校での学校行事や生活指導、安全指導、避難訓練などである。新 1 年生の保護者会は 2 月に行う予定だ。また、新校の青少年委員は 2 月中旬に推薦される。その他、両校で詳細を詰めているところだ。

副会長

他に何かあるか。

田柄三小生活指導主任

通学路と地域班についてご報告する。1 月 26 日(火)に、両校の校長、副校長、生活指導担当、

両校のPTAに提案し、了承が得られた内容である。まず、光七小校舎への通学路についてだが、来年4月に田柄三小の児童の通学路が大きく変わる箇所について、年度内に両校の教職員で点検したうえで事前に通学指導をする予定である。次に、地域班についてである。田柄三小では、これまで居住地ごとに13エリアで児童の通学上の安全管理に協力していただいた地域班の実績を評価し、新校でもこれを継続することを提案したところ、了承をいただいた。統合新校で、保護者の方々にどのようにご協力していただくか等の具体的な内容は、新校開校後に決定していく。

委員

団地から通う児童の通学路は、遠回りでも人通りのある安全な道を設定してほしい。

副会長

他に何かあるか。

事務局

先日、田柄第三小の改修工事業者が決定した。そこで、3月19日(金)の19時から、改修工事の説明会を田柄三小で行う。後日、保護者や地域の方々へご案内を差し上げる。

- 質疑なし -

副会長

それでは、本日が最後の統合準備会となる。各委員から一言ずつ感想などをお願いしたい。

会長

やはり、学校が閉校するのは、お互いとても寂しいことだと思う。にもかかわらず、両校で知恵を出し合いながら、子供達のために協力し合う連帯感が生まれた。光七小も田柄の地域の方々にご協力をいただいた。委員の方々のご協力のおかげで、無事に、新しい学校で子供達が伸び伸びと活動できるような準備が出来たと思っている。本当に感謝を申し上げたい。

委員

学校がなくなるのはとても寂しいことだが、統合準備会に参加することで、両校それぞれの良さを発見した。今後も、地域の一員として新校を見守っていきたい。

委員

これまで同じ団地の児童が3つの学校に分かれて通学していたが、統合を機に1つの学校に通うことができることになり、念願がかなった。これが閉校という形で実現したのは大変複雑な気持ちだが、新校では両校のこれまでの良さを引き継ぎ、地域で子供達を応援していきたい。

委員

統合準備会という大変貴重な場に参加させていただいて感謝している。学校が閉校するとい

うのは胸が痛むが、今後も新校を応援できる立場でいられることに感謝したい。

委員

私にとって、光七小は大変思い出深い学校だった。来年度の1年間は光七小の校舎での児童の元気な姿が見られることを嬉しく思う。4月から新校で児童がのびのびと勉強できることを願っている。今後も地域で協力できることがあれば、お手伝いをしたい。

委員

私は、開校と閉校それぞれの場に立ち会うという貴重な機会に恵まれ、自分にとっても良い経験をさせていただいた。また、委員の方々の意見を聞いて、新たな視点に気づかされることが多かった。これまで、学校の最後の行事として力を注いできたが、これからは新校での最初の行事を児童に印象づけられるようにしていきたい。

委員

私は、今年着任したばかりで閉校の準備に取り組まなければならず、複雑な心境だった。両校それぞれに良さがあるとともに、違いもあった。それらをどうやって新校ですり合わせていくのかは今後の課題であるが、両校の良さを残し、新校への希望をもって皆様と協力していきたい。

委員

長いようで短い2年間だった。私が学生のときに見ていた小学校にこのような形で関わるとは思いもよらなかった。おそらく、人生の中でも滅多にない良い経験だった。統合準備会で議論してきたことは新校での土台になっていくと思う。新校が未永く続いて歴史を刻んでいてもらいたいと願っている。

委員

新校開校まで不安に感じる点もあるが、私の子供は新校で最初の卒業生になるので、楽しみだ。残りの1年間、新校で楽しく過ごせればよいと思う。

委員

私の子供も新校で最初の卒業生になるので、学校が閉校する寂しさと新校が開校する期待とが入り混じった複雑な気持ちでいる。統合して友達がたくさん増えることが子供にとって楽しみなようで、その期待を大きく膨らませられたら良いと思う。私の校章図案が選定されたときは戸惑ったが、今は選ばれて良かったと思っている。

委員

統合準備会での2年間は有意義で貴重な経験をさせていただいた。今後も、教育委員会の方々には新校を見守ってもらいたいと思う。地域住民にとって、この地域の子供達は大切な宝物なので、一生懸命育てていくことに全力を尽くしたい。新校の先生方には、素晴らしい学校をつくっていただきたい。

副会長

これまで 17 回開催した統合準備会の司会を務めてきたが、委員の方々は新校に向けて前向きに議論していただいたので、大変感謝している。学校としても皆様の期待に応えられるように、新校が良い学校としてスタートできるように頑張りたい。

副会長

統合準備会の終了にあたり、学校教育部長、教育長からご挨拶をお願いしたい。

学校教育部長

この統合準備会は、新校開校に向けて熱心に議論していただいた。両校の委員が一方の学校を配慮し、思いやる気持ちを抱きながら校名を選定していただいたことが印象的だった。今後は、教育委員会が委員の方々の思いを受けとめて、児童の明るく元気な声が溢れかえるような学校になるよう努力したい。

教育長

適正配置第一次実施計画に基づき、光が丘地区の小学校 8 校が 4 校に統合するという事で、統合準備会が発足した。光七小と田柄三小の統合は、それぞれ学校の地域性や歴史が異なるので初めは正直、不安だった。しかし、児童、保護者、地域の方々がお互いに理解・協力し合ってくれたことに心から感謝を申し上げたい。今では、両校の児童が 2 年間にわたる交流活動を通じて、それぞれ同じ学校に通学する気持ちが醸成されつつあるし、教員同士も相互理解を深めている。4 月に開校する新しい学校に魂を入れるのは、児童、教職員、保護者、地域の方々、教育委員会である。区立学校の統合は、練馬区にとって初めての経験であるが、今後も統合準備会委員や保護者の方々の期待を受けて光が丘秋の陽小学校を支援していきたい。

副会長

ありがとうございました。それでは、以上をもって、光が丘第七小学校・田柄第三小学校統合準備会を終了する。